

# 女性医師の勤務環境の整備 ～働きやすい病院を目指して～

「第31回愛媛大学医学部連携病院長会議」

一般財団法人永頼会 松山市民病院  
理事長・院長 山本祐司  
平成31年3月2日(土)

## 病院概要



- 病院設立 昭和31年6月1日  
平成25年4月1日『一般財団法人 永頼会』に移行
- 病床数 432床(稼働病床410床、休床22床)
- 診療科目 26診療科  
内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、神経内科、心療内科、精神科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、婦人科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、形成外科、皮膚科、放射線科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、病理診断科、救急科

## 医師数 常勤医師92名(平成31年1月1日時点)

女性常勤医師21名(初期研修医2名含む)  
既婚者:9名、未就学児の子育て中:7名

当院は約23%が女性医師  
初期研修医除くと約21%

女性医師が在籍する診療科

診療科	全医師数	女性医師数
内科	10	3
消化器内科	10	5
呼吸器内科	3	1
小児科	3	3
眼科	2	1
皮膚科	1	1
形成外科	2	1
麻酔科	4	2
放射線科	4	1
歯科・歯科口腔外科	2	1
臨床研修科(初期)	2年目 4	0
	1年目 10	2

女性医師が在籍しない診療科

診療科	全医師数
循環器内科	2
外科	11
呼吸器外科	4
心臓血管外科	2
脳神経外科	3
整形外科	7
泌尿器科	3
耳鼻咽喉科	2
救急科	1
病理診断科	1
臨床検査室	1

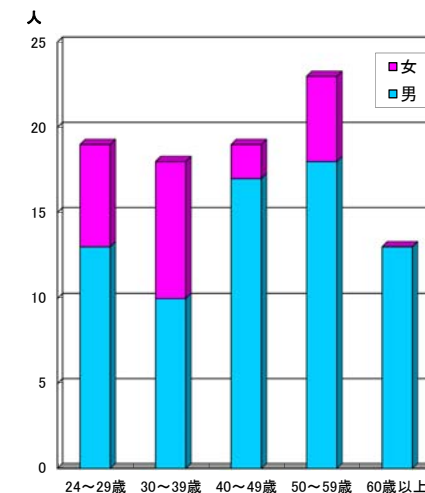
平成31年度初期研修医

基幹型6名、協力型4名(うち女性は基幹型2名、協力型1名)

## 医師の年代別分布

年代別医師数

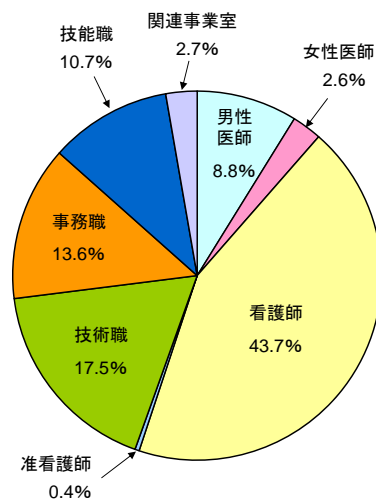
年代	男	女	計	各年代における女性医師の割合
20歳代	13	6	19	32%
30歳代	10	8	18	44%
40歳代	17	2	19	11%
50歳代	18	5	23	22%
60歳以上	13	0	13	0%
計	71	21	92	



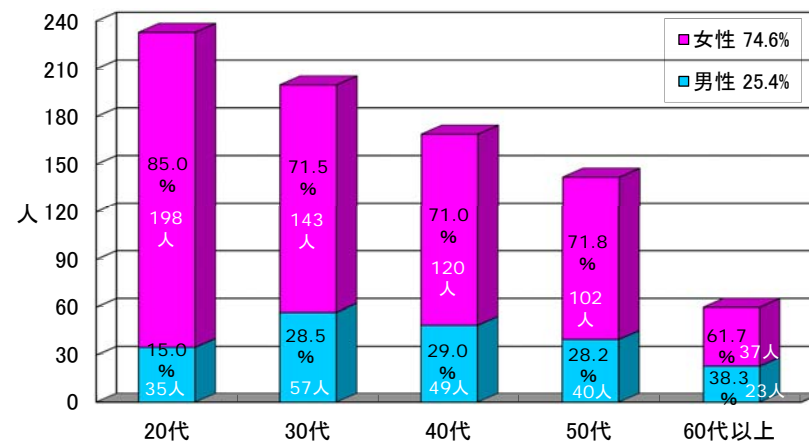
## 職種別職員構成 平成31年1月1日現在

職種	男性	女性	合計人数
医師	71	21	92人
看護師	20	331	351人
准看護師	1	2	3人
技術職	67	74	141人
事務職	30	79	109人
技能職	13	73	86人
関連事業室	2	20	22人
計	204	600	804人

74.6%が  
女性職員



## 職員の年代別人数及び男女比



## 当院の取り組み



1. 院内保育所(松山リエール保育園)の設置
2. 宿直・救急当番免除、短時間勤務の実施
3. 産休・育休制度の取得
4. 働きやすい職場環境の整備

## 松山リエール保育園



外観:木造2階建ての建物  
木のぬくもりを感じながら過ごせる

- 平成28年度 企業主導型保育事業の実施により、院内保育所を増築
- 開所 平成29年11月1日

一般保育「えいらいキッズ」に病児保育「アイビー」を併設  
※ 院内保育所ではあるが、地域の方々も利用可能である。



病児保育「アイビー」(左)と一般保育「えいらいキッズ」(右)は別々の入口になっており、お子さんの動線が交わることはない。



2階は約146㎡の「地域交流室」となっており、読み聞かせの会や研修会等が開催されている。



園舎北側には園庭を設けており、充実した設備環境が整っている。

## 一般保育「えいらいキッズ」



- 対象 生後57日～小学校就学前まで
- 定員 47名
- 開園日 月曜日から土曜日、祝日
- 保育時間 基本保育 7:30～18:30  
延長保育 20:00まで  
一次預かり保育 7:30～20:00
- 認可外保育 外部委託にて運営



- ・職員は幼稚園とあわせて利用すること(二重保育)も可能である。
- ・常勤男性医師の子どもが基本保育を利用した事例があった。
- ・一時預かり保育では、非常勤女性医師や配偶者が子どもを見れない男性医師の利用があった。

## 病児保育「アイビー」



- 対象 6ヶ月から小学4年生まで  
通院で治療を行える程度の症状の小児(病児)  
当院小児科の受診必要  
地域利用が多い(80%)
- 定員 10名(最大15名の利用歴)
- 保育時間 月曜日から金曜日 8:00～18:00  
延長保育なし
- 利用料金 一日一律 2,200円 ※昼食、おやつ込

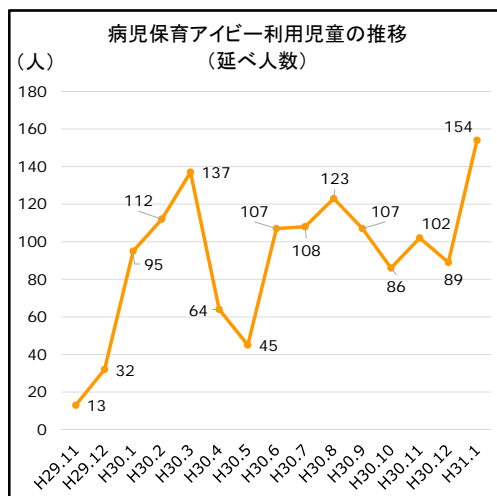


- ・スタッフは当院職員の看護師、保育士で、小児科の全面協力のもと当院ならではの保育を提供。
- ・各部屋独立空調、床暖房つきで、感染予防に配慮し、安心安全なつくり。
- ・観察室2部屋には専用トイレつき。

## 松山リエール保育園児童数



一般保育えいらいキッズ 児童数 (平成31年2月1日時点)	
0歳	7名(Drの子ども1名含む)
1歳	13名(Drの子ども1名含む)
2歳	8名(Drの子ども1名含む)
3歳	7名(Drの子ども2名含む)
4歳	2名(Drの子ども1名含む)
5歳	2名(Drの子ども1名含む)
計	39名



## 【関連施設】 社会福祉法人 永頼会 松山中央乳児保育園



- 設置年月日 昭和42年9月1日 財団法人永頼会により開設  
平成26年8月1日 社会福祉法人永頼会へ移行し建て替え
- 認可型保育にて松山市行政と連携
- 受入年齢 生後56日～3歳未満
- 定員 60名(待機児童の問題により増員可にて現在70名)
- 職員数 28名(パート5名含む)
- 開所時間 月曜日から金曜日 7:00～19:00  
土曜日 7:00～18:00
- 一時預かり保育 対象年齢 6ヶ月以上  
定員 6名  
月曜日から金曜日 8:30～17:00

平成31年2月1日時点

児童数内訳	当院職員の児童数	
0歳	26名	3名
1歳	23名	1名
2歳	21名	3名
計	70名	7名

(H30.4月の学年年齢で算出)

## 2.宿直・救急当番免除、短時間勤務の実施

### ■ 宿直・救急当番免除

本人の状況を考慮して、診療科長と相談の上、免除している。

宿直・救急復帰時には、希望があれば日程調整を行う。

### ■ 短時間勤務

本人の状況を考慮して、週30時間を下回らないよう、診療科長と相談の上、柔軟に対応している。

短時間勤務の利用例	消化器内科、31～34歳 子育てのため 週30～40時間勤務 (週1回+土曜日休み)	形成外科、32～34歳 子育てのため 週30～40時間勤務 (週1回休み)	消化器内科、31～33歳 子育てのため 週30～40時間勤務 (土曜日のみ休み)

## 産休・育休取得状況(現勤務医師)

出産年齢	産休	育休
44歳	H24.11/8～ 78日間	H25.1/25～H25.10/31 (約9ヶ月)
31歳	H26.2/22～ 99日間	H26.6/1～H27.3/31 (約9ヶ月)
32歳	H27.1/5～ 106日間	H27.4/21～H27.5/10 (約0.5ヶ月)
31歳	H27.11/29～ 98日間	H28.3/6～H28.9/30 (約7ヶ月)
	H30.3/12～ 87日間	H30.6/7～H30.10/31 (約5ヶ月)
29歳	H28.5/29～ 102日間	H28.9/8～H29.3/31 (約6.5ヶ月)

## 3.産休・育休制度の取得



### ■ 産休(産前産後休業)：産前6週～産後8週まで取得可

- 労働基準法(昭和22年)で定められた制度

### ■ 育休(育児休業)：1歳の誕生日まで取得可

- 育児・介護休業法(平成3年)で定められた制度
- 平成29年からは場合によっては2歳まで取得可(公務員は3歳に達する月まで)

↓

- 認可保育園に入所を希望し、申し込みをしているが、1歳6ヶ月に達した時点で入所できない場合
- 子どもの養育を行っている配偶者が、やむを得ない事情(亡くなったり、病気になったとき)で1歳6ヶ月後の養育が困難となった場合

### ■ 当院では平成5年から育休の記録あり

平成8年 麻酔科Dr 1ヵ月半取得

平成12年 麻酔科Dr 1ヵ月取得

(育休後、松山中央乳児保育園を利用しながら継続勤務(各々2児、3児))

## 4. 院内の環境整備



- ①休憩室を備えた女性医師専用の更衣室を整備 } プライバシーに配慮
- ②女性医師専用の医局あり
- ③女性医師専用の仮眠室、シャワー室を整備 } 男女がお互い気兼ねなく利用できる
- ④男性医師専用の仮眠室、シャワー室を整備
- ⑤初期研修医が勉強会等に利用できる } 研修医同士の交流が図れ、研修にも専念できる
- ⑥副医局長(副院長)に女性医師を登用 } 相談しやすい環境づくり
- ⑦医局を新しく増やし、個人の利用 } 業務から解放される空間の快適性を向上



男女問わず、医師が働きやすい環境を整備

①女性医師専用の更衣室



①更衣室内の休憩スペース



③女性医師専用の仮眠室



③女性医師専用のシャワー室



⑤臨床研修室



⑦新しくできた医局



## 当院の女性医師の現状



1. 院内保育所、病児保育の活用
2. 「小1の壁」問題
3. 家族のサポート
4. 育児とキャリアアップの両立

### 管理者として

育児と両立して働く女性医師が、今後結婚・出産適齢期を迎える若手医師のロールモデルとなってくれることに期待

## 子育て中の女性医師について①

現年齢	子どもの年齢・性別	育児の状況			働き方	キャリアアップ
		院内保育所	病児保育	二重保育		
50歳	6歳 女兒	○ 4月～小学生 学童保育利用	○	○	・通常勤務 ・3歳になった4月 から宿直再開	・眼科専門医更新
36歳	4歳 男児	○	×	○	・短時間勤務 ・救急、宿直免除	・糖尿病専門医 (妊娠中) ・消化器病専門医 (育児中) ・消化器内視鏡専門医 (育児中)
36歳	4歳 男児	○	○	○	・通常勤務 ・月1回宿直 (本人の指定日) ・土、日の日中 救急当番	・形成外科専門医 (育児中)
35歳	5歳 女兒	○	○	○	・フル勤務 救急の深夜当番を 月数回担当してい るため、宿直は免除	・小児科専門医 (育休中)

## 子育て中の女性医師について②

現年齢	子どもの年齢・性別	育児の状況			働き方	キャリアアップ
		院内保育所	病児保育	二重保育		
34歳	3歳 女兒	○	◎	4月より ○	・通常勤務 ・救急、宿直免除	・消化器病専門医 (育児中) ・今年消化器内視鏡 専門医取得予定 ・今後肝臓専門医を 目指す
	9ヶ月 男児	4月より ○	○	×		
32歳	2歳 男児	○	◎	×	・短時間勤務中 (週1回+土曜日休み) ・救急、宿直免除	・糖尿病専門医 (育児中) ・今後甲状腺専門医 取得を目指す
30歳	1歳 女兒	○	◎	×	・短時間勤務(週3日)	・今年麻酔科専門医 取得予定

## 1. 院内保育所、病児保育の活用

- 病院に隣接しているので、小児科受診後、病児保育に預けて勤務できる。(昼食、おやつあり)
- 近くにいる安心感があり、仕事にも集中できる。
- 他の子どもと遊ぶなど、集団生活で得るものも大きく、成長を感じることができる。

## 2. 「小1の壁」問題

- 小学生にあがったときの働き方の問題  
⇒産休・育休を経て復帰した女性医師の子どもが成長し、新たな悩みが浮上)
- 児童クラブは開所時間が18時頃までのため、常勤で働いていると、迎えが難しい
  - 民間の学童保育の利用
  - 春・夏・冬休み期間中の過ごし方

## 3. 家族のサポート

- 配偶者によるサポート
  - ・仕事や研究が忙しいなか、家事・育児に協力的
  - ・同職のため、妻の仕事に理解
- 親の協力など、家族のサポートがないと子育て前と同じようには働くことは難しい

## 4. 育児とキャリアアップの両立

医師としてのスキル維持と自己実現のため、両立して頑張りたい

↓ そのためには…

- 各診療科の理解とキャリアアップ支援
  - ・他の医師への負担増は皆でシェア
  - ・できる範囲内で仕事に集中
  - ・周囲のサポートへの感謝
- 課題
  - ・夜間対応の保育所、ベビーシッターの紹介
  - ・学童保育の延長
  - ・働き方の選択肢の拡大

## 処遇

- 短時間勤務の場合は〇〇時間／40時間で給与・諸手当を算出。
- 産休中は、基本給や役職手当などの固定給は全額支給。
- 育休中は無給だが、ハローワークに申請し、育児休業給付金（平成7年4月1日より開始の制度）を受け取ることが可能。
- 産休・育休期間中は、健康保険、厚生年金の保険料の免除制度あり。  
本人負担、事業所負担ともに免除。

## 代替医師の確保（これまでの事例）

### 整形外科

産休・育休中は、救急日の準夜帯に関連大学の医局から1名救急外来の応援あり

### 形成外科

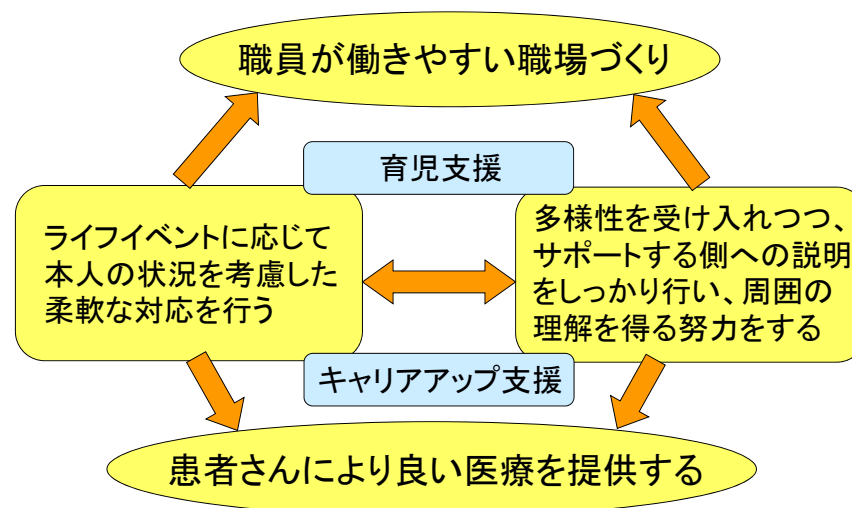
産休・育休中は、非常勤医師の勤務時間を延長して外来を対応

## その他

- 複数担当医制  
診療科によっては、複数で主治医を務める体制をとり、急な対応や不在時をカバー。
- 休暇
  - 夏季休暇・・・6日間  
6月1日～11月30日の取得を原則とするが、3日間は年間を通じて取得可能
  - 有給休暇・・・1年目・・・10日間  
4年目以降・・・20日間  
有給休暇取得限度日数・・・40日  
(前年度繰越分と合わせて40日まで取得可能)

平成30年 医師の有給休暇取得率  
(有給休暇+夏季休暇6日間)・・・約22.9%

## 病院管理者として





ご清聴ありがとうございました。